

# 醍醐寺の春

熊谷九寿

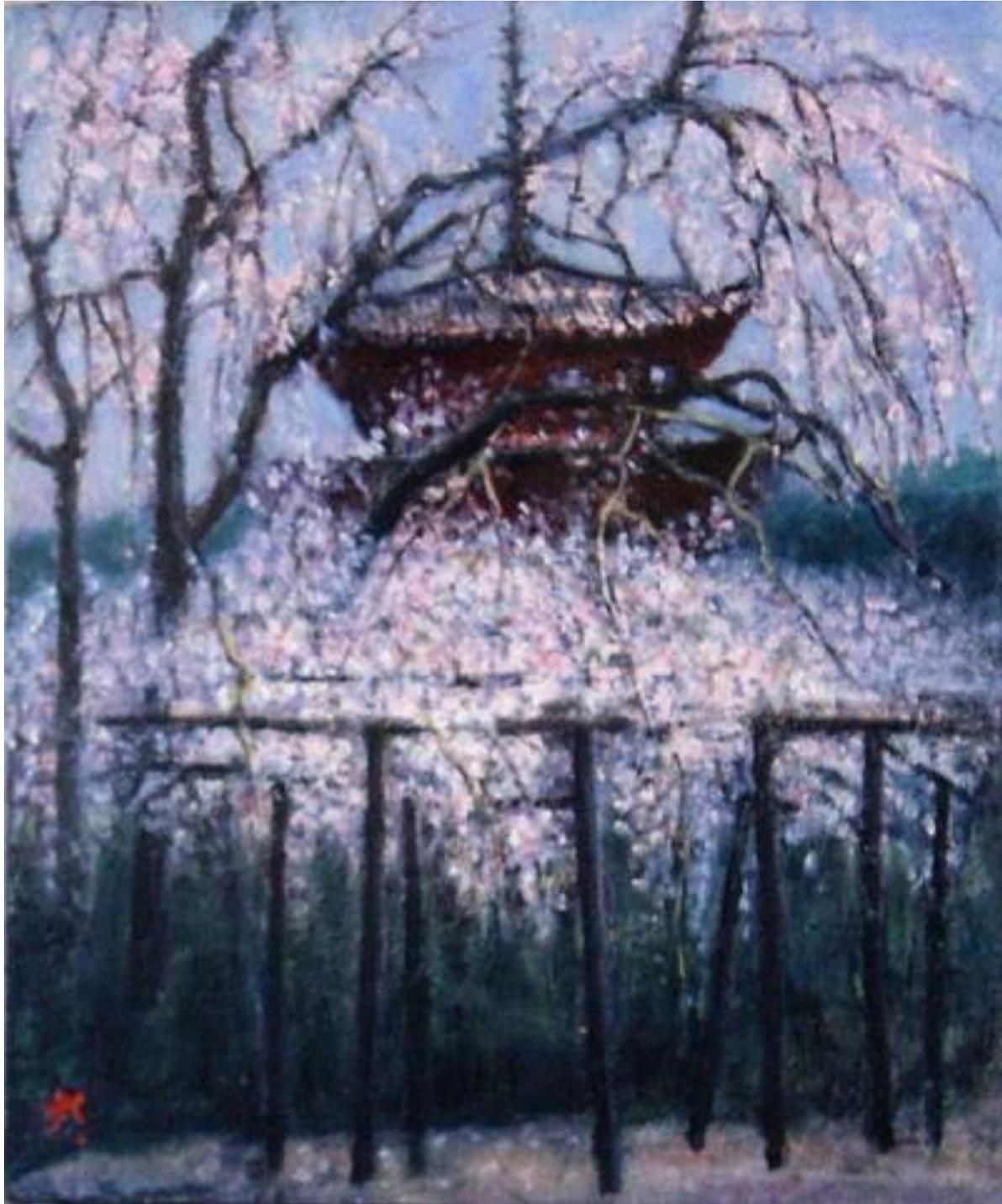
制作年：1982(昭和57)年

サイズ：130.3×97.0cm

材質：油彩、カンヴァス

所蔵：中津市木村記念美術館

1993(平成5)年中津市に寄贈される。



熊谷は多く桜を描きました。中津市の所蔵品にも、大野寺(奈良県)、常照皇寺(京都府)、長岳寺(奈良県)、法隆寺夢殿(奈良県)、醍醐寺(京都府)などの名高い桜を描いたものがあります。この「醍醐寺の春」は天曆6(952)年に建立された醍醐寺の国宝五重塔と桜を描いたものです。澄んだ青空の下、堅固な造りで悠久の歴史を伝える五重塔と、今を盛りと咲く柔かく豊かな桜の花が調和し、うららかで暖かい春の陽を感じさせます。また同じ構図のものに、昭和48(1973)年制作の「醍醐の春」(大分県立芸術会館蔵)と昭和50(1975)年制作で国画会出品作の「醍醐の桜」があり、熊谷が繰り返し取り組んでいた画題であるとわかります。